

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

教授 高橋龍也

取 組 状 況	
教育	<p>1. 担当講義においては作成したワークシートを配布し、授業内容についてシートに記入し授業を進行。特に板書が不得手な学生にとっては対話をしながら進行できるので、復習の個所が確認しやすくなった模様。従来より演習不足が検討課題となっていたので本年度も定期試験前の模擬課題による復習の機会を増やした。定期試験前に配信するテキストの完成版の配信時期や時間等を検討することで、授業の態度等も改善され、取り組み方にも変化が見られた。具体的には試験直前での配信より演習授業に合わせた配信により効果を期待した。全体の教育効果は微増ではあるが、中間成績層の理解の底上げが見られた。</p> <p>2. 4学年の選択授業においては、昨年度同様に授業内容を実践的な内容に</p>
研究	<p>1. 継続にはなるが4学年の授業内容に導入予定の”電気泳動”は授業内容に近い教材を採択することを念頭に教材の確定に手間取ってしまっている。本年度は授業内容に沿った高分子合成実験（吸水性高分子合成、ナイロン合成）の内容となった。</p>
社会貢献	<p>1. 日本学術振興会 審査委員登録更新</p>